



まちづくりびと ニュース 第4号

平成19年9月発行

<目次>

- まち“夢”工事第一次選考会……………P1
- まちづくりびと養成講座……………P3
- 都市センター催事レポート……………P5
- 今後のよてい……………P6

まち☆夢☆工事 第一次選考会レポート

7月15日(日)、台風4号の影響で開催が危ぶまれましたが、予定時間を二時間遅らせて、無事に開催された「まち“夢”工事 選考会」。



会場はプレゼンターの方たちの熱気に包まれつつも、応募団体同士の顔見知りも多く、なごやかな雰囲気で開催されました。

「まち“夢”工事」はハード部門で初めての活動助成募集、そして「まちづくり活動助成(ソフト部門)」に続く試みである公開審査での選考会。応募団体は、これまでの活動実績が長い方々、団体が多かったように見受けられました。



パワーポイントやOHCなどを利用した、力のこもったプレゼンテーションが続きます。質疑応答では、審査員の質問に対し、団体の方たちの「この提案は必要なんだ」という熱い想いが伝わります。



プレゼンテーションや質疑応答のあと、選考を通過した団体が発表されました。団体の名前が呼ばれると、お互いの健闘をたたえあうかのように、会場全体から歓声が聞かれました。

つぎは第二次選考。さらに具体的な提案へ向けて、通過団体のみなさんの発表が楽しみです。

《第一次選考会を通過した団体のみなさん》

● 平針南学区連合自治会

「平針南学区 自然とくらす地域づくり」

でこぼこ山や市民緑地の再生、まちのなかにあるみどりの在り方として、まさにイメージが広がる夢工事の提案でした。

● 特定非営利活動法人 揚輝荘の会

「揚輝荘 “夢舞台”」

素晴らしい歴史資産である揚輝荘の、新しい活用方法が楽しみです。

● 大高まちづくり協議会

「大高まちづくりサロン（愛称「夢仕込さろん」）」

大高のまちの特徴を活かした、歴史ある酒蔵をいかしたサロンの提案です。

● 那古野一丁目町づくり研究会

「史跡表札の作成・設置」

昨年の講座の対象地区でもある円頓寺商店街～那古野地区の、史跡の魅力を伝えるための表札の提案です。

● 特定非営利活動法人 まちの縁側育くみ隊

「まちの縁側MOMOリニューアル」

多世代交流居場所をめざす MOMO のリニューアル。地域にひらかれた安心な居場所をめざす、さらに魅力的なエンガワづくりに期待します。

● 特定非営利活動法人 こどもNPO

「にいのみ池公園の雑木林をプレーパークにしよう」

プレーパーク発で安心安全なまちづくりを！の熱い想いが伝わってきました。

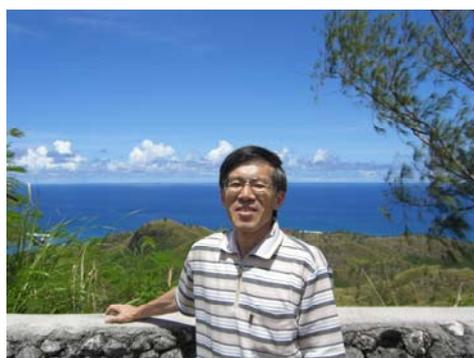
まちづくりびと養成講座

みなさんの近況

山口 郁夫さん（2期生）

6月の「まちづくり活動見学会」に参加して、中村区の大門界隈と美濃路の現地見学会がありました。大門では昔懐かしい遊郭界隈や中村観音を見ましたが、観音さんの大きさにはびっくり仰天しました。美濃路では昔の街道沿いを西枇杷島から清洲の方まで歩く予定でしたが、大雨で中断となり残念至極です。都市センターさん再度企画をお願いします。私のほうは相変わらず忙しく仕事をしています。街づくり関係では、我々が実習した「円頓寺」商店街の本町が今年度アーケードを改築しますので、来年2月頃には新しく生まれ変わります。また、

犬山の本町商店街（犬山城に通じる中心商店街）では、空店舗を県の補助金を使って新しいお店に改築しています。アクセサリーの雑貨やしゃれた飲食店が入ることになっています。店の奥に60坪ほどの日本庭園を設ける計画もあります。10月オープンですので、皆さんも一度覗いてください。



河合 耕三さん（1期生・2期企画運営スタッフ）

みなさん、こんにちは。第1期生の河合です。

“ランドスケープから空間を考える”をコンセプトとして、内部空間と外部空間につながりを持たせたデザインをする設計事務所を主宰しています。

建築業界はいま、6月におこなわれた建築基準法改正への対応に大忙しで「自分の本業は何?」と考えてしまうような日々をすごしています。

ところで、講座修了生の仲間で「+まちづくり」という団体をつくりました。いろいろな広がりを持った団体にしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



修了生の有志で創った「+ (プラス) まちづくり」

「+まちづくり」とは、第1期、第2期のまちづくりびと養成講座を通じて仲良くなったメンバーで創った団体です。

今年3月に発足したばかりで、まだゆったりとしたペースですすんでますが、さまざまなことに関わりつつ、すこしずつ活動の幅を広げている様子です。

《いままでの活動 (+まちづくり HP (<http://plus-machi.org>) より)》



- 平成19年5月 円頓寺商店街のごえん市に参加
- 6月 円頓寺商店街のごえん市に参加
- 7月 円頓寺商店街のごえん市に参加
円頓寺青年部”那古衆”の定例会に参加
まちづくりびと養成講座実行委員会に参加
- 8月 まちづくりびと養成講座実行委員会に参加
- 9月 円頓寺商店街のごえん市に参加
まちづくりびと養成講座実行委員会に参加
円頓寺青年部”那古衆”の定例会に参加



～ごえん市で出店中～

まちづくりびとサロン

ここは、まちづくりびとの皆さんが自由につかえる掲示板です。

「こんなイベントやります！」や「こんな団体・NPOがあります」
「名古屋のここが素敵だった(店、みち、etc...)」「こんなことができますよ」
など、どうぞ何でも、ご自由にご意見をください。

「まちづくりびとサロン」宛てで、「お名前」「第〇期生」をご記入のうえ、
EメールやFAX(*6ページにEメールアドレス、FAX番号を記載)で送ってください。
講座修了生のメーリングリストで送っていただいてもOKです！

(※スペースの関係で、抜粋させていただく場合がありますが、ご了承ください。)

都市センター催事レポート **だがねランド**

今回で二回目を迎えた「だがねランド」は、子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのためのまち。

今年の夏も都市センターが、子どもたちがつくる遊びゴコロいっぱいのにまちに大変身！

テレビや新聞でも取り上げられ、盛り上がりました。

子どもたちがつくるまちづくりは、一体どんなまちでしょうか。まちづくりのヒントがかくされているかもしれません。というわけで、7/24～8/26に開催された「だがねランド」を、取材します！



だがね Q&A (都市センター管理課の加藤さんにお話を伺いました。)

Q. 子どもたちの手作りのまち「だがねランド」はとても面白い試みだと思いますが、何をきっかけに始まったのでしょうか。

A. 以前は展示型のイベントでしたが、子どもたちにより関心をもってもらえるよう、参加型・体験型のイベントを、大学の先生や学生とともに考えたのがきっかけです。名古屋のまちづくりに愛着をもってもらえるよう、「～だがね。」という名古屋弁から、「だがねランド」という名称が決まったと記憶しています。

Q. スタッフも大学生の方が多いですね。

A. 大学生がスタッフとしてはいることにより、大人～子どもというタテの関係ではなく、フラットなつながりが持てるのが大きいですね。子どもたちの心をつかみ、アイデアをどんどん引き出していると思います。

Q. ワークショップを通して「だがねランド」の商店街やまちができるんですね。ワークショップでの子どもたちの様子はいかがでしょう。

A. 参加する子どもたちは年齢層の幅が広いので、技術的な差がでてきます。はじめて会う子たちも、たとえば上級生の子が年下の子を教えたり、という関係が自然にできて、いろんな子の関わりのなかで、一人ひとりの可能性が広がっているようです。子どもの知らない一面がみられたりして、保護者の方も驚かれています。

Q. 子どもたちが作ったまちは、どんなまちでしたか。

A. 今年の取り組みとして、ワークショップを定期的に行い、どんどんまちを改造、改良していきました。最初の商店街から、電車、温泉、交番、放送局、そしてだがねランドの思い出をかざる写真館…と、「これが必要だな」と子どもたちが思うものが増えていきました。ふだんまちの中で感じていること、それが形になるようですね。

今後のよてい

■石田芳弘さん（前犬山市長）の講演を開催予定。乞うご期待！

11月3日（土）13～15時 名古屋都市センター11階 大研修室にて

前犬山市長として、犬山市民と一体となって城下町再生に取り組んだ石田芳弘氏をお招きして、「まちづくり」をテーマにお話を伺います。

“まちは最高の教室、百科事典”と、ふる里と、そこに住まう人々を愛する石田さんのユニークなまちづくりの考え方をお話しいたします。どうぞお楽しみに！

■平成19年度 まちづくりびと養成講座 が始まります。

おなじみ「まちづくりびと養成講座」がいよいよ10月13日（土）から開催します。

今回は、講座&ワークショップのアラカルト形式で、さまざまなまちづくりの手法を学んでいきます。

今年は講座修了生から誕生した+まちづくりも企画運営に協力しています。

みなさんのお近くで、「まちづくりにちょっと興味がある」という方がいたら、ぜひ参加のお声をかけてください。



～まちづくりびと養成講座ロケハン中～

編集後記

リニューアルした「まちづくりびとニュース」、いかがでしたでしょうか。

これぞ猛暑、という暑～い日が続いた名古屋も、そろそろ秋色に変わりつつあります。

ミッドランドスクエアができたこともあるのか、ここ名古屋は、良くも悪くも人の層が変わってきているなあ、と感じます。

都市化の弊害として治安が悪くなることのないよう、まちづくりという草の根活動がもっと広がり、日常生活に溶け込むといいな、と思います。（枇榔）

■ニュースに載せてもよい記事などがありましたら、ドシドシお寄せください！

名古屋都市センター 調査課 まちづくり支援班

<メンバー>宮島、田嶋、青山、後藤、枇榔

〒460-0023 名古屋市中区金山町一丁目一番一号金山南ビル13階

TEL 052-678-2214 FAX 052-678-2211

E-mail shien@nui.or.jp